

町報

かわにし

2023

8

No.1231



家族や友達と楽しむ夏の風物詩

cover 小松幼稚園夏まつり

町の取り組み

町では、災害から命を守るため、様々な対策を検討し、実装に向け準備を進めています。本号では、その一部である「ワンコイン浸水センサ」と「公開型 GIS システム」をご紹介します。

ワンコイン浸水センサ導入

●ワンコイン浸水センサとは？

水位を測定する小型センサー。道路などに設置し、路面から一定の水位に水が達した際にいち早く浸水を検知し、町担当者がパソコン上で確認できるようになります。

●防災効果

浸水検知により、リアルタイムで浸水箇所が確認できるようになるため、いち早く避難誘導を行えるようになります。また、複数のセンサーを設置することにより、どこで浸水しているかが把握できるため、避難所の早期開設や避難経路確保など、町民の皆さんがより安全に避難するための情報を活用できるようになります。

●本町の設置状況

国土交通省による実証実験として導入し、7月より町内27か所にセンサーを設置しています。それぞれのセンサーは路面から水位が5cm、10cm等に設定し、それぞれに達した際に反応する仕組みとなっています。



公開型 GIS システム導入

●公開型 GIS システムとは？

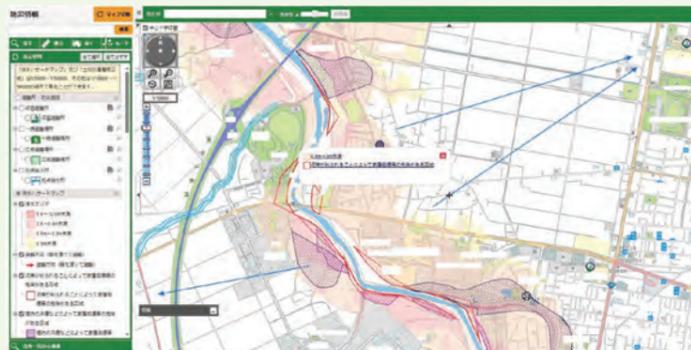
GISとは、Geographic Information System (地理空間情報システム) の略称です。今まで紙で扱っていた地図をデジタル化し、その上に各種情報を重ねて表現できるほか、検索や計測などをすることができます。このシステムの機能を Web 公開し、パソコンやスマートフォンから簡単に利用できるものが公開型 GIS です。

●防災効果

平常時は災害種別ごとのハザードマップや避難所等を地図上に公開し、災害リスクに備えていただく情報を提供します。災害時は、災害リスクを回避いただくため、道路被害状況(交通規制等)、避難所開設状況等の町民の皆さんが命を守るために必要な防災・災害関連情報を提供します。

●本町の設置状況

令和6年3月の公開を予定しています。



▲公開型 GIS の表示画面例

特集 大雨災害から1年 災害から守る地域づくり

町安全安心課 ☎42-6612



▲令和4年8月3日に発生した大雨災害による本町の被害

令和4年8月3日12時43分に洪水警報、その後大雨警報と土砂災害警戒情報が続き、19時15分には大雨特別警報が発令され、長時間による大雨により、本町は多大な被害を受けました。その日の降水量は385.5mmとなり、平年8月1か月分の降水量142.9mmを1日で大きく上回るほどの雨量となりました。

また、最近では全国各地での大雨災害が相次いでいる状況となっています。近隣では秋田市が7月14日から続いた記録的な大雨により、多大な被害を受けたところです。

災害はいつ発生するかわかりません。だからこそ、日頃の備えが大切になってきます。日頃の備えがいざという時に命を守ることに繋がります。大雨災害が発生して1年経った今、本号では命を守るための防災を特集します。

復旧状況

鏡沼付近で損壊した橋の復旧が完了しました

本橋の復旧が完了したことに伴い、「川西町浴センターまどか」や「川西ダリヤ園」等の施設へ向かう際は該町の町道をご利用いただけます。

鏡沼
 川西ダリヤ園
 川西町浴センターまどか
 復旧した橋の位置

町地域整備課 ☎(42)6647

昨年の大雨災害により鏡沼が決壊した影響から損壊した公園2号橋(町道上六角平谷地線)の復旧工事が完了しました。復旧完了に伴い、長い間通行止めとしていた町道上六角平谷地線の鏡沼付近が令和5年7月29日(土)から通行できるようになりました。長い間う回路等の通行にご協力いただきありがとうございます。

自分達の避難ルールを決める マイ・タイムラインを作きましょう!

マイ・タイムラインとは、水害から安全に避難するために、事前に準備しておく一人ひとりのオリジナルの避難計画です。地震は急に発生しますが、洪水等は台風などが原因となり徐々に発生するため、事前の準備をしておくことで被害を最小限に抑えることができます。本ページでは、マイ・タイムラインの作り方ををご紹介します。

STEP 1 住んでいるところの水害のリスクを知ろう!

①浸水したときのリスクをチェック(町のハザードマップを参考にしてください。)

- ◆住んでいるところの浸水の深さはどのくらいか?
- ◆住んでいるところは家屋倒壊等氾濫想定区域となっているのか?

※家屋倒壊等氾濫想定区域:洪水等により家屋が倒壊・流出等になるおそれがある区域。

▲町ハザードマップ



②車、ペット、持病薬、周りで避難に支援が必要な人等の有無を確認しましょう。

③避難所や近くで安全な場所を調べておきましょう。また、それぞれの場所に向かう移動手段と移動時間を確認しましょう。

STEP 2 タイムラインの考え方を知ろう!

- ①台風等が発生してからの、気象状況や川の水位などがどのように変化していくかを知り、河川が氾濫に至るまでを確認しましょう。
- ②河川が氾濫するまでに、自分がどのような順序で行動するかを確認しましょう。



STEP 3 マイ・タイムラインを作り、活用しよう!

- ①STEP 2で確認した行動をマイ・タイムラインに整理しましょう。気象情報や避難情報、川の水位などをもとにどのタイミングでどの行動をとるのかを記載ください。
- ②完成したマイ・タイムラインは、いつでも見えるところに貼っておきましょう。
- ③必ずしもマイ・タイムラインどおりに災害が進行するとは限りません。収集した情報とマイ・タイムラインを参考に落ち着いて行動しましょう。

【マイ・タイムラインの例】

時間	行政から発信される情報 水位等の状況に関する情報など	周囲の状況	とるべき行動(備え)
3日前	・台風予報 ・台風に関する気象情報	台風が発生	・台風について調べる。
2日前	・大雨注意報・洪水注意報 ・台風に関する今後の見通し	台風が接近し雨や風が強まる。	・避難するときの物品の準備 ・家の周りに風で飛ばされるものがないか確認 ・情報収集し、雨や川の様子に注意
1日前	・大雨警報・洪水警報		
半日前	・水防団待機水位到達 ・氾濫注意水位到達→氾濫注意情報発表 ・暴風警報	雨で川が増水し、河川敷にも水が流出	・住んでいるところと上流の雨量を調べる。 ・川の水位を調べ始める。 ・ハザードマップで避難場所や手段の確認 ・避難しやすい服装に着替える。 ・通行止めの情報がないかを確認する。
5時間前	・避難判断水位到達→氾濫警戒情報発表 ・高齢者等避難発令	川の水があふれる寸前	・高齢者等避難を受信
3時間前	・氾濫危険水位到達→氾濫危険情報発表 ・避難指示(緊急)発令		・避難指示を受信 ・安全なところへ移動を始める。
災害発生	・氾濫が発生 ・氾濫発生情報 ・緊急安全確保発令	川が氾濫	・この時点では避難は完了している。

※マイ・タイムラインの作り方等について、国土交通省のホームページからさらに詳しくご覧いただけます。

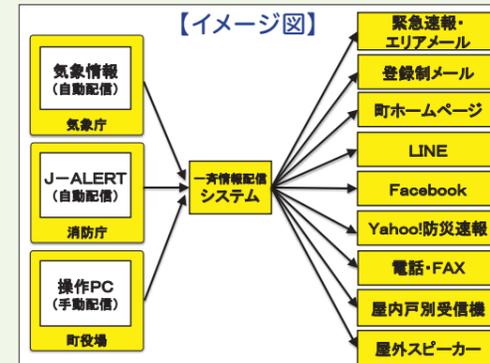
▶国土交通省ホームページ



早い情報のキャッチを 各種防災情報媒体への登録をお願いします

●一斉情報配信システム

町では防災情報の発信において、一斉情報配信システムを導入しています。このことにより、気象庁や消防庁が発表する情報の数々が町の一斉情報配信システムを経由し、メールやSNS等の媒体に素早く配信できるようになり、町民の皆さんに情報をいち早く伝えることができるようになりました。



●電話やFAXでも情報を受け取ることができます

携帯電話はないが固定電話はある方、携帯電話はあるがメールやアプリ操作が難しい方はぜひ登録をお願いします。

◇登録方法 町安全安心課(☎42-6612)へご連絡ください。(電話かFAXのどちらか1つ)

●SNSやメール等の登録をお願いします



▲登録制メール登録ページ



▲町公式LINE登録ページ



▲町公式Facebook



▲Yahoo!防災速報(アプリ)

一般の方もぜひご参加ください

川西町総合防災訓練 開催

◆日時 8月27日(日) 9時30分～10時30分

◆会場 小松小学校周辺(小雨決行)

今年の川西町総合防災訓練は、小松小学校周辺を会場として、小松地区自主防災組織や町消防団等各種団体の協力を得ながら開催します。

この訓練は、町民の皆さんが、令和元年台風19号のような水害が発生したときに、「どのように行動したらよいか」を考え、被害を最小限に食い止めることができるようになるものです。

当日は、災害用電話体験や、電気自動車等の車両見学、消防防災ヘリコプター「もがみ」の訓練(雨天の場合中止)見学などもできますので、小松地区外在住の方もぜひご参加ください。



▲災害用電話体験



▲消防防災ヘリコプター「もがみ」

※訓練に伴い、当日午前8時～10時30分にサイレンやエリアメールが複数回鳴りますので、ご承知ください。

※ご来場の際は、エコスノードーム及び町生きがい交流館の駐車場をご利用ください。



7/20 町内産紅大豆入りコロッケの提供
町の美味しいものを食べて学ぶ

町内農産物の消費拡大と食育の推進を目的に(株)かわにし森のマルシェより町内の小中学校の給食に「紅大豆入りコロッケ」が提供されました。大塚小学校の2年生では、コロッケのあまりの美味しさに笑顔で頬張っている様子が見られました。また、町職員やかわにし森のマルシェのスタッフにより紅大豆や紅大豆入りコロッケの説明を受け、町の特産品について学んでいました。(NCV)



▲給食の様子 (NCV)



7/23 “明るいやまがた”夏の安全県民運動出発式
安全で安心できる地域を目指して

7月21日(金)～8月20日(日)の1か月間“明るいやまがた”夏の安全県民運動を行うにあたり、出発式を開催しました。出発式には、米沢警察署・交通安全協会をはじめ米沢市・川西町の関係機関・団体より約110人が参加しました。式終了後は、パトカーや青パトが町内を巡回し、ドライバーにはプラカードで安全運転を呼びかけました。



4/29 令和5年春の叙勲
寒河江晃さんが瑞宝小綬章受章

社会に貢献された人に対して国が授与する春の叙勲において、寒河江晃さん(洲島)が瑞宝小綬章を受章されました。この賞は、公務に長年にわたり従事し成績を挙げた人に授与されるものであり、寒河江さんは法務行政事務功勞による受章です。寒河江さんは昭和46年から法務局に勤務し、長年の間法務行政事務に携わりました。東日本大震災発生時は、福島地方法務局長として復興事業に寄与されました。



7/1～ ハーブ香るごちそうフェア
ハーブを食べて体験して楽しむ

7月1日(土)～31日(月)にハーブ香るごちそうフェアが開催され、町内の飲食店や菓子店でハーブを使ったオリジナルメニューが提供されました。また、期間中毎週水曜日は、置賜公園ハーブの会によるワークショップが行われました。参加者はハーブのガーランドやラベンダースティック作りを体験し、ハーブに癒されたひとときを楽しんでいました。(NCV)



▲体験の様子 (NCV)



7/23 川西町消防団消防ポンプ操法発表会
有事に備えたポンプ操法を披露

7月23日(日)に令和5年度川西町消防団消防ポンプ操法発表会を開催しました。消防ポンプの確実な取り扱いと基本操法の技術を身につけることを目的とし、今回から審査を行わない発表会方式としました。

参加した団員ら約200名は日頃の成果を発表し、有事に備えていました。



▲発表の様子 (NCV)



7/23～ コミュニティ施設「OND」オープン
旧東沢小学校を利活用した新たな施設

(株)Rest(横山森之代表取締役)により、旧東沢小学校校舎を利活用したコミュニティ施設「OND」がオープンしました。ONDでは、子ども達や障がいを持った方が遊び、様々な方が繋がれることを目指し、のびのびと遊べる屋外広場や体育館、ゆっくりできるカフェ、薪ストーブを展示したショールームが整備されています。オープン日には、SNSを見た若い層をはじめ多くの方が来場しました。



7/16 自然・ふれあい 玉庭夏まつり
木造校舎から紙ひこうき飛ばし

玉庭ふるさと総合センター・おもいで館の2階から紙ひこうき飛ばし大会が行われました。県内外からたくさんの参加者が訪れ、どうやったら飛ぶのか考えて作った一人2機のオリジナルの紙ひこうきで、大人も子どもも夢中になって飛距離を競い合いました。真下に落下したり、屋根に落ちるたびに会場は笑いに包まれながら、風を読み歴代2位となる記録も出るなど、大いに盛り上がりました。



7/19 J A山形おきたま様より提供
給食で地元のデラウェアを味わう

J A山形おきたま川西地区農政対策本部様より町内全ての小中学校と幼児施設の給食に町内産のデラウェアが無償提供されました。地産地消や食育を目的にしたこの取り組みは今年で7年目となります。

中郡小学校の6年生では、給食のデザートとして、甘酸っぱいデラウェアを一粒一粒嬉しそうに味わっていました。



▲給食の様子 (NCV)

「メディカルタウン虹のみえる丘」の申込状況

「メディカルタウン虹のみえる丘」（川西町メディカルタウン定住促進宅地）は、7月末現在、17区画中13区画が申込済みとなっています。空き区画については、先着順で申込みを受け付けています。詳しくは山形県すまい・まちづくり公社までお問合せください。 ☎山形県すまい・まちづくり公社 ☎0120-303-978



7/20～ 川西ダリア園清掃ボランティア 多くのお客様をお迎えするために

7月20日(木)に町衛生組合連合会、7月25日(火)に町建設業協会、7月29日(土)に町観光協会理事の皆様により、川西ダリア園の清掃・草刈りボランティア活動が行われました。これは、ダリア園の開園に合わせ、綺麗な状態で多くのお客様をお迎えするため、毎年開催いただいているものです。暑い中、作業いただきありがとうございました。



7/27 R287おしよしな作戦 in 川西 夏はぼんやり運転に注意!

夏は暑さやレジャーでの長距離運転などで疲労がたまりやすくなります。また、青少年の非行や犯罪も多くなる傾向にあることから、国道287号線沿いで啓発活動を行いました。プラカードやのぼり旗を掲げ、「高齢者にやさしい運転を」とドライバーに訴え、スーパー出入口では買い物客に啓発物品200セットを配布して、犯罪と事故防止をよびかけました。



▲運動の様子 (NCV)

イベント情報

小松豊年獅子踊り

- 公演日 8月27日(日)
- 公演会場・時間
 - ①諏訪神社 9:00
 - ②かがやきの丘 10:00
 - ③かわにし森のマルシェ 10:40
 - ④旧斎藤肉屋前 11:20



▲大迫力の火の輪くぐりをぜひ生でご覧ください。

☎小松豊年獅子踊会 原田
☎090(7524)2661

第25回ダリアCUP MTB大会 in 川西

- 開催日 9月10日(日)
※雨天決行
- 会場 ダリア園周辺特設コース
- 内容 MTB(マウンテンバイク)クロスカンントリーレース
- 申込 申込フォームから8月25日(金)までにお申込みください。



☎チーム白猿 本間
☎090(8780)4461



▲大会の詳細



▲申込フォーム

下小松古墳群 「秋の七草」 観察会

下小松古墳群には、「秋の七草」のうち6種が自生しています(キキョウ、オミナエシ、ハギなど)。散策しながら、可憐なその姿を鑑賞してみませんか。

- 開催日時 8月20日(日)
9:00～11:30
- 集合場所 下小松古墳群駐車場
- 案内人 白壁洋子さん(森の仲間たち代表)
- 服装・持ち物 長袖長ズボン、帽子、飲み物
- 参加費 無料



☎里山と下小松古墳群を守る会 青木
☎090(7329)4488



8/1～ 川西ダリア園オープン 色鮮やかなダリア達とともに開園

8月1日(火)に令和5年の川西ダリア園がオープンしました。昨年発生した大雨災害により、一時期間休園を余儀なくされたダリア園。多くの皆さんのサポートのもと、今年も無事開園を迎えることができました。ありがとうございます。開園初日である1日は、開園式を開催し、関係各所の皆さんから祝福いただきました。今年もダリア園へぜひご来場ください。



▲開園の様子 (NCV)

令和5年8月15日



8/2 川西町まちづくり委員会 外部評価結果を報告

令和4年度に町が実施した事業に対する外部評価の報告書を町まちづくり委員会(菅井厚委員長)より提出いただきました。委員会の皆さんには6～7月にかけて、5政策、13施策、6プロジェクトについて評価作業に取り組んでいただきました。外部評価の結果は町ホームページで今後公表します。

町の「キレイ」の最前線

町内のごみの量は、年間約1,900 t。可燃、不燃等の家庭ごみは、(有)きれき社に収集運搬を委託し、皆さんの快適な住環境を維持しています。

今回は、ごみ収集作業員の竹田潤さんに現状等を伺いました。



Q どのような作業をしていますか？

A 川西町各地区ごみ収集所（全323ヶ所）の一般廃棄物の収集・運搬作業を行っています。

Q 仕事でやりがいを感じる瞬間は？

A 作業中や作業終了後に町民の方々から、あいさつや感謝の言葉をいただいた時です。

Q 仕事で工夫していること、気をつけていることは？

A 工夫していることは、道路の路肩にパッカー車を止めて作業をするため、一般の方々の通行の妨げにならない様、できるだけ素早く作業をすることです。気をつけていることは、指定されたごみ以外のものが入っていないかを確実に確認することです。

Q ごみ減量のポイントは？

A 分別区分表を見て、資源物に該当するものは、積極的にリサイクルすることです。



▲回収出来ない時にごみに貼るステッカー

Q 仕事で大変だと感じる瞬間はどんな時ですか？

A 指定されたごみ以外のものが袋の中に混じっていて、ステッカーに収集できない理由を一つひとつ記入することです。改善されないまま、記入したステッカーが外され、もう一度同じ内容を書く時もあり、大変だと感じます。



▲火災の原因となったスプレー缶



▲実際に起こったパッカー車の火災事故

Q 町民の皆さんにごみを出す際に、気をつけていただきたいことは？

A 火災の原因となるため、スプレー缶には、見える大きさの穴を空けてください。

町民の方へ一言メッセージをお願いします

地区ごとのカレンダーや、分別区分表をよく確認し、正しいごみ出しにご協力をよろしくをお願いします。



▶川西町HPでは「家庭ごみ分別区分」を掲載していますので、ご確認ください。

かわにしオーガニックを取り巻く環境

国では、2025年までに100市町村で「オーガニックビレッジ」を創出することとしており、川西町も令和5年4月28日(金)に「かわにしオーガニックビレッジ宣言」を行いました。本ページでは、本町のオーガニックビレッジとしての活動をご紹介します。



オーガニックビレッジとは？

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みを進める市町村のことをいい、農林水産省は、このような先進的なモデル地区を順次創出しております。

有機農業とは？

農薬や化学肥料に頼ることなく自然な土づくりを行った上で農産物を作る農業形態のことをいいます。

また、「環境に配慮した農業」いわゆる環境保全型農業(環境促進農業)ともいわれています。※別名「オーガニック」ともいいます。

かわにしオーガニックビレッジ宣言(抜粋)

以下の3本柱のもと各種事業を展開します。

- ◇「農」環境に配慮し健全な作物を生産する「土づくり運動」の推進
- ◇「食」SDGsを実現する食料品の地産地消等 食育の推進
- ◇「学」命の結びつきを学ぶ 食農教育の推進



▲詳細はこちら

かわにしオーガニックビレッジ推進協議会の設立

住民が一体となり環境に配慮した取り組みを推進するため、令和4年8月に本協議会が設立されました。

●協議会構成員

生産者(個人、団体)、消費者、実需者(旅館等)、置賜農業高校等計10人(当初) ※順次、協議会員を募集しています。

●これまでの活動

- ①生産者や消費者に向けた講演会や研修会の開催
- ②消費者への情報発信
 - ・映画「いただきます2ここは発酵の楽園」の上映
 - ・菌ちゃん先生(吉田俊道)による講演会の開催
- ③スーパーマーケット等での消費宣伝PR活動
 - ・かわにし森のマルシェで毎年10月下旬に有機農業フェアを開催
- ④町内全小中学校の給食に米等の有機農産物を提供
- ⑤有機農産物を使用した加工品の開発
- ⑥有機の指導体制の強化(有機JAS審査員補の取得)



▲菌ちゃん先生による講演会



▲有機農業フェア

児童扶養手当の現況届提出をお忘れなく

児童扶養手当を受けている方は、毎年8月に現況届を提出することになっています。この届出は、児童の養育状況や受給者の前年分の所得状況などの必要事項を確認し、引き続き手当てを受けられるか確認するためのものです。未提出の場合手当てが受けられなくなります。ご案内はすでに対象者のご自宅に郵送済みですので、期限内に提出ください。

- ▶提出期限 8月31日(木)
- ▶提出方法 町健康子育て課窓口にご持参ください。

☎町健康子育て課 ☎42-6671

プレミアム付電子商品券の取り扱い事業者を募集します

町内の消費促進と町内経済のデジタル化を支援するため、町では今秋にプレミアム付の電子商品券の発行を予定しています。プレミアム付電子商品券の取り扱い事業者（加盟店）の募集に伴い、説明会を開催します。

説明会当日には加盟申込みも受け付けますので町内事業者の皆さまはぜひご参加ください。

※予約不要

- ▶日程
 - ①8月22日(火) 18:30
 - ②8月30日(水) 15:00
 - ③8月31日(木) 9:30
 - ▶場所 町役場 大会議室（3階）
- ※詳細は町ホームページ（以下のQRコード）をご確認ください。

☎町産業振興課 ☎42-6645



8月の町税等

- 町・県民税（2期）
 - 国民健康保険税（2期）
 - 介護保険料（2期）
 - 後期高齢者医療保険料（2期）
 - 水道・下水道料金（7月使用分）
- 口座振替日 8月28日(月)
納付期限 8月31日(木)

「家庭ごみの分別区分（改訂版）」を制作します

町では、ごみの分別方法を記載した「家庭ごみの分別区分」の改訂版を新たに制作し、分かりやすいごみの分別やごみ出しマナーについて町民の皆さまにお知らせしながら、町全体でごみを減らす取り組みをより一層推進してまいります。

- ▶配布範囲 町内全戸配布
 - ▶配布時期 令和6年4月頃(予定)
- ※発行は、町と(有)寄清堂印刷との官民共同事業として行い、地域の事業者様からの広告掲載費用により作成します。広告掲載については、(有)寄清堂印刷（☎52-0005）にお問合せください。

☎町住民課 ☎42-6618

令和6年度「つや姫」生産者「雪若丸」生産組織を募集

- ▶募集期間 9月8日(金)
- 詳細はお問合せください。
- 【つや姫】
- ▶申請手続 生産者組織または農業者個人で申請
 - ▶提出先
 - ①JAに出荷される方→JA
 - ②米集組合に出荷される方→米集組合
 - ③個人で出荷される方→町産業振興課

- 【雪若丸】
 - ▶申請手続 生産者組織で申請
 - ▶提出先 置賜総合支庁農業技術普及課
- ※令和5年度に認定・登録されている方も申請が必要です。

☎町産業振興課 ☎42-6642

●8・9月の無料相談

内容	日時	場所	予約・問合せ先
特設人権相談	9/6(水) 13:30～16:00	町健康福祉センター(旧町立病院2F)	町住民課 ☎42-6615
行政相談	8/23(水)・9/20(水) 13:30～15:30	町健康福祉センター(旧町立病院2F)	町住民課 ☎42-6615
幼児ことばの相談室	8/21(月)・9/19(火) 9:00～12:00	町子育て支援センター	町健康子育て課 ☎42-6671
きらきら親子相談(要事前相談)	8/31(木)・9/14(木) 13:30～15:30	町子育て支援センター	町健康子育て課 ☎42-6640
心配ごと相談	毎週水曜日 13:30～16:00	町健康福祉センター(旧町立病院2F)	町社会福祉協議会 ☎46-3040
法律相談(要事前予約)	8/17(木)・9/21(木) 13:00～16:00	米沢地区勤労者福祉会館(米沢市)	米沢地区勤労者福祉協会 ☎21-5250

就学時健康診断を行います

令和6年度に小学校へ入学予定の児童を対象に就学時健康診断を行います。詳細は9月に、該当する保護者あてに郵送します。

- ▶対象 平成29年4月2日～平成30年4月1日に生まれた方

▶健診日程

期日	学校名	健診会場
10月6日(金)	中郡小学校	中郡小学校
10月11日(水)	大塚小学校 犬川小学校	大塚小学校
10月18日(水)	小松小学校	小松小学校
10月20日(金)	吉島小学校	吉島小学校

☎町教育文化課 ☎42-6659

ふるさと納税返礼品の取扱事業者を募集します

町内で生産、製造した商品をふるさと納税の返礼品に登録してみませんか？自社の商品をもっとPRしてみたい、販路を拡大したいなど、町内産品の魅力発信にふるさと納税の仕組みをご活用ください。

自社の製品が返礼品になるのかわからないなどのお悩みも受け付けます。町内産品の魅力発信にご協力いただける事業者の方をお待ちしています。

- ▶募集対象 個人、法人（業種不問）

- 【町内産品の例】
- ◇町内で生産された農作物
- ◇町内で製造された加工品（菓子、味噌など）
- ◇川西町をPRするオリジナルグッズ
- ◇町内で行う農業体験、アクティビティ

☎町産業振興課 ☎42-6645

アスパラガス栽培に興味がある方へ ～ほ場見学会開催～

☎町産業振興課 ☎42-6641 / 置賜農業技術普及課 ☎57-3411

栽培まで一步踏み出せない方、未経験の方大歓迎です。現場を見て、生産者の生の声を聞くことができる絶好のチャンスです。事例紹介や栽培技術説明などを行います。奮ってご応募ください。

- 日時・会場
 - ・日時：9月8日(金) 13:30～ 2時間程度
 - ・集合場所：JA山形おきたま南陽支店 駐車場
 - ・見学ほ場：南陽市宮内地区
- ・日時：9月12日(火) 13:30～ 2時間程度
- ・集合場所：JA山形おきたま米沢支店 駐車場
- ・見学ほ場：米沢市塩井地区



- 対象 アスパラガス栽培に興味のある置賜地域に居住の方
- 定員 30名程度
- 申込方法 9月4日(月)までにお問合せ先へお電話ください。

令和6年度コミュニティ助成事業の事前相談開催

☎町まちづくり課 ☎42-6613

（一財）自治総合センターが、宝くじ受託事業収入を財源として実施する「令和6年度コミュニティ助成事業」の事前相談を受け付けます。

※詳細は令和5年9月頃発表のため、条件等に変更が生じる可能性もありますので、ご了承ください。

- 対象団体 町内の自治会、地域コミュニティ団体等
- 募集事業
 - ①一般コミュニティ助成事業 コミュニティ活動に直接必要な設備等（建築物、消耗品は除く）の整備 助成額：100万円～250万円
 - ②コミュニティセンター助成事業 自治会集会所等の建設または大規模改修、その施設に必要な備品の整備 助成額：総事業費の5分の3以内（上限1,500万円）
 - ③自主防災組織育成助成事業 防災活動に直接必要な設備等（建築物、消耗品は除く）の整備 助成額：30万円～200万円
 - ④青少年健全育成助成事業 青少年の健全育成に資することを目的として行うイベントに要する経費（主として親子で参加する事業） 助成額：30万円～100万円
- 申請方法 申請を希望される場合は、必要書類等について、事前にお問合せください。

マイナンバーカードの受取りはお済みですか？

～ポイント申込期限は令和5年9月末まで！

☎町住民課 ☎42-6615

- ◆マイナポイント第2弾のポイント申込期限が令和5年9月末までとなっています。
 - ・マイナンバーカードを令和5年2月末まで申請された方は、マイナポイントの付与対象となります。
 - ・マイナンバーカードを申請し、お受け取りいただいていない方は、ご予約のうえ早めにお受け取りください。
 - ・ポイント申請期限の9月末近くになると窓口の混雑が予想されます。早めのご予約をお願いします。
 - ◆マイナンバーカードの受取りについて
 - ・交付日時：平日 9時～12時 13時～16時（木曜日は18時45分まで延長）
 - ・休日開庁：9月3日(日) 9時～12時
- ※受取希望日の2開庁日前までに電話予約が必要です。



▲マイナポイントの詳細はこちら

開催予定

日常にプラス10分の運動を取り入れるきっかけに!

ぐるりウォーク+10

- 9月6日(水)
10:00~
- ▶場所 町フレンドリープラザ
- ▶内容 ウォーキング
- ▶参加費 無料
- ▶その他 2回参加毎に浴センターまどかの入浴券1枚贈呈。要申込。



玄米ダンベル体操の集い

- 9月19日(火)
10:00~10:30
- ▶場所 町生きがい交流館
- ▶内容 DVDをみながら玄米ダンベル体操をやってみよう
- ▶参加費 無料
- ▶持ち物 玄米ダンベル(お持ちの方)、水分補給用飲み物、内ズック

献血(400mlのみ)

- 9月22日(金)
9:30~11:30
- ▶場所 町役場
- ▶対象 男性:17~69歳
女性:18~69歳
※65歳以上は要件有
- ▶持ち物 献血カード



9月から新しいコロナウイルスワクチンでの秋接種が始まります

初回接種が完了した方は9月から12月までの期間に、1回接種ができます。詳しくは接種券同封チラシをご覧ください。接種はあくまでご本人(保護者)の判断によるもので強制ではありません。

▶接種券の発送(秋接種はピンク色の接種券となります。)

◇12歳以上

後日、年齢により時期を区分した接種券を発送します。集団接種の日程等も合わせてお知らせします。

◇生後6か月から11歳までの方

9月中旬以降に接種の案内をいたします。

▶接種

◇使用ワクチン

現在、流行の主流であるXBB.1系統のワクチンを使用予定(これまでのワクチンと異なります。)

◇個別接種をおすすめします。

国が個別接種を推奨しています。今後集団接種の回数が少なくなるため、接種券が届いたら早めに町内医療機関に予約しましょう。



▶詳細はこちら

マイナ保険証を利用しましょう!

町住民課 ☎42-2114

マイナンバーカードと一体化した健康保険証を利用できる医療機関で従来の保険証を利用すると、令和5年4月から12月末までの間、負担が重くなります。



初診	マイナンバーカードを利用しない場合	6点	3割負担で約18円
	マイナンバーカードを利用する場合	2点	3割負担で約6円
再診	マイナンバーカードを利用しない場合	2点	3割負担で約6円
	マイナンバーカードを利用する場合	-	-

南陽東置賜休日診療所

☎40-3456

診療日: 日曜日・祝祭日

時間: 8:45~11:45

13:00~16:30

診療科目: 主に内科、小児科

住所: 南陽市栲塚420-7

歯科休日当番医

診療時間 9:00~15:00

期日	担当歯科医院	電話番号
8/20	林歯科医院(米沢)	22-8148
8/27	千葉歯科医院(高畠)	57-4618
9/3	鈴木歯科医院(米沢)	23-0370
9/10	いとう歯科クリニック(南陽)	50-0418

※電話でお問合せのうえ、受診してください。

水道修理当番表

期間	業者	電話
8/16 9/4~10	(株)殖産工務所	42-3500
	齋藤設備	42-2480
8/17~20 9/11~17	(株)藤島建設	42-3166
	(株)藤倉設備	42-3366
8/21~27	スガイ住設	42-3987
	(株)黒澤技建	42-6351
8/28~9/3	(有)米野建設	42-2392
	(株)サイトウ電気設備工業	42-4111
修理当番 直通携帯		080-6008-8330
		080-6008-5331



第40回地酒と黒べこまつりで提供する米沢牛が決定しました

町産業振興課 ☎42-6641

◆購入場所 第44回米沢牛枝肉共励会(7月27日(木)開催)

◆購入枝肉 川西生まれ川西育ちのA-5ランクの米沢牛2頭

- 1頭目 肉牛生産者:大沼藤一さん(西大塚)
子牛生産者:後藤慶成さん(上奥田)
- 2頭目 肉牛生産者:すまいるファーム(小松)
子牛生産者:伊藤克憲さん(高山)



▶詳細はこちら

今回決定した米沢牛は、黒べこまつりの他に、町内全小中学校の給食への提供も予定しています。

空き家利活用のご相談は

川西町空き家バンク まで

町まちづくり課 ☎42-6613

登録累計 99 件のうち

成約 **73** 件 (令和5年7月末)

町長室から



暑さに負けず

中学生が熱中症で亡くなるなど災害級の猛暑が続き、疲れがたまり体力の低下が心配されます。規則正しい食生活や睡眠時間の確保が大切なポイントのようです。水分補給や暑さ対策に注意し乗り切ってください。

11日は4年ぶりの夏まつり、暑い中準備に奔走していただいている皆さんに感謝しています。

ダリヤ園が開園しました。暑さで満開ではありませんが可憐なダリアが皆さんに喜んでいただいています。開園式では昨年を振り返り、町にとってはなくてはならない施設であり、町の観光のシンボルとして一層充実していきたいと思いをいたしました。今年も三菱鉛筆様から記念の鉛筆を贈呈いただきました。ダリヤ園への町道が復旧しました。一年間う回路の沿線の皆さんにはご協力いただきありがとうございます。

ございました。

先月国や県、置賜の市町長による流域治水勉強会が開催され、国交省のヘリコプターに搭乗、米沢市から白鷹町まで最上川の現況を調査しました。最上川流域全体に土砂堆積や支障木が繁茂し、これらを撤去する緊急治水対策プロジェクトの重要性が確認されました。一方山地の方も崩落した箇所が多数あり治山や砂防対策も重要です。流域全体で連携を図りながら様々な事業を通じ住民の安全を守っていききたいと思えます。

町は今年「かわにしオーガニックビレッジ宣言」を公表しました。活動の一環として菌ちゃんふあーむ代表の吉田俊道先生を講師に、小松保育所の子供たちと親子で「生ごみたの肥づくり」と「免疫力を上げる食生活」の講演会が開催されました。台所から出る野菜の皮や根は栄養価が高くて肥料作りに最適であり、発酵菌と土を混ぜプラントナーに寝かせました。一か月後にはその土に種や苗を植え野菜を育て、収穫しました生ごみを土に返します。講演では「有機野菜の持つ生命力、微生物の力、生長点を食べるなど免疫力アップについて」の内容でした。今後も継続してご指導いただきますので是非ご参加ください。

農業委員会だより

(第72号) 町農業委員会事務局 ☎42-6605

緑と愛と丘のあるまち川西町を
未来につなぐために

会長就任あいさつ ～農地利用の最適化を目指して～



川西町農業委員会
会長 新野 勝廣

皆様方におかれましては、農業委員会活動に対しまして、「ご理解」ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年3月の農業委員・農地利用最適化推進委員の改選にあたり、会長に指名いただき、その重責を改めて感じております。農業委員会の責務である農地利用の最適化により農地を守ることとは、国民の食を守ることであり、さらには地域を守ることに繋がります。新体制一丸となって活動の推進

に努めてまいります。近年の農業を取り巻く情勢は、高齢化等による担い手の減少・肥料や飼料、資材の高騰・激甚化する気象災害への対応等、課題が山積しており、農業委員に求められる役割も大きくなっていると感じております。

一方、法改正により各市区町村農業委員会において「地域計画」を策定し、将来の農地利用の姿を明確化することが必要になりました。これを契機として、関係者の皆様と連携しながら地域農業の未来を拓くため邁進してまいります。今後とも皆様方のご協力、ご指導のほどよろしく申し上げます。

未来の川西町の農地利用を考える研修会を開催しました

6月29日(木)に「未来の川西町の農地利用を考える研修会」と題して、令和7年3月までに策定が必要な地域計画に関する研修会を開催しました。

研修会では、地域計画の概要と今後で推進していく有機農業に関する説明の後、グループに分かれて10年後の農地利用を考えるワークショップを行いました。



▶ワークショップの様子

農業に携わってワクワクしたことや大変だったこと、10年後に残していきたいものや人等活発な意見交換がなされ、地域計画を作成する上でのヒントを得ることができました。

今後は、農業者等へのアンケート調査や各地区での話し合いを通して実効力のある地域計画作成に向けて取り組みますので、皆様からのご協力をお願いします。

※地域計画とは

これまで地域農業の将来の在り方を示した「人・農地プラン」が、本年4月施行の農業経営基盤強化促進法の一部改正に伴い「地域計画」に改められ、各市区町村で令和7年3月末まで策定が必須となりました。

今後、各地区での10年後の耕作者を明記した目標地図も作成し、公告・縦覧を経て策定していきます。

「農業者のご紹介」伊藤 藤夫さん(堀金)



今回は、江戸時代初期から420年にわたって受け継がれてきた農業を営んでいる伊藤藤夫さんを紹介いたします。伊藤さんは「食の安全・安心」に寄与し、高付加価値をつくる有機農業に長い間携わってきました。また、かわにし有機農業推進協議会会長として、持続可能な農業や環境保全型農業の在り方を各方面に提言しています。

「有機農業を始めるきっかけは？」

2001年に有機JAS制度ができたのと同時に始めました。高付加価値をつければ通常に栽培された米(以下慣行米と表記)よりも高い価格で売れ、高収益につながり経営が安定すると思ったからです。

「有機JAS認証米(以下有機米) 特別栽培米(以下特栽培米) 慣行米の作付面積は？」

有機米が6ha、特栽培米が7.5ha、慣行米を1ha作付しています。

「有機米の栽培で難しいところは？」

私の有機米は紙マルチ栽培です。田植え機が黒色の再生紙を敷きながら、その上に6条の苗を植えていきます。一つのマルチが重さ27kgで長さ150m、合計230本のマルチを使用します。交換作業はその都度水田に降りて手作業でマルチを入れ替えます。風の強い日は、せつかく田植えたのに紙がはがされたり、雨の日は、水で紙が浮かされ田植えた苗を覆い、苗が枯死したりと大変苦勞します。

す。風との付き合い方、雨との妥協点など微妙な感覚が必要です。

この苦勞も友達として、ひいては、人生も能率とか便利業の追求だけでなく、たまには苦勞と共に人生いろいろを経験をしたほうがいいのかと考えます。

「有機米や特栽培米の認定を受ける方法は？」

登録認証機関に有機米や特栽培米を生産したい水田を一筆ごとに申請し、基準に適合していれば認証されます。有機米は農水省が認めた認証機関が、特栽培は公益財団法人やまがた農業支援センターで認定します。



▲紙マルチ田植え機による田植え

「販売先は？」

主に東京です。卸業者3社、小売業者3社と契約しています。個々のお客さんも多いです。

す。有機栽培を始めたころは、販路を求めて見ず知らずの会社に電話をいれたり大変でした。

「後継者問題はどのように？」

私も67歳になります。息子は東京でIT会社役員をしています。3年前に息子を社長として我が家の農業を販売面で支える株式会社を設立しました。近い将来、私の後継者として農業法人に移行しますので、そこに若くて元気な社員を育てるのが、私の喫緊の課題です。

「農業はSDGsの理念に密接にかかわっていると思うか？」

持続可能な社会の実現に向けて、農業分野でも多くの課題があり、その課題を解決する責任があります。世界的に見て、飢餓や気候変動対策は重要です。

私は、自然豊かなこの川西町で暮らす者として人々と共に、又、名もない動植物と共に生きる事、それが私のSDGsです。米作りは、食糧の生産と環境保全のお手伝いをしていると考えています。

農地の利用状況調査(農地パトロール)にご協力ください

農地法第30条に基づき、農業委員会は毎年一回、区域内にある農地の利用状況についての調査を行うこととなっております。今年も次の通り実施いたします。各農地へ立ち入ることや、所有者にお話を伺うこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。

●調査期間

毎年8月下旬

●調査目的

- ①農地の利用状況の確認
- ②遊休農地の実態把握と発生防止・解消
- ③違反転用の早期発見・発生防止

●調査方法

各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局職員が実際に農地の現況を調査

農家の経営とくらしに役立つ情報をおとどけます。

全国農業新聞

●発行日：毎週金曜日
●購読料：月700円(送料・税込み)
●申込み：農業委員会事務局へ

町内開催の子育てイベント

ルンルン子育て広場 予約不要

子育て支援センター「こあら」が開催するイベントです！予約不要でどなたでもご参加いただけます。

牛乳パックであそぼう

- 日時 8月25日(金) 9:30～11:30
- 場所 町子育て支援センター

ペタペタ！スタンプあそび

- 日時 9月8日(金) 9:30～11:30
- 場所 町子育て支援センター

子育て応援講座 楽しいリトミック②

- 日時 9月21日(木) 9:30～11:30
- 場所 町子育て支援センター

☎町子育て支援センター ☎44-2822

こあらっこ広場 予約不要

保健師による身体測定や育児相談、妊婦さんやおうちの方の交流・情報交換の広場です。

- 日時 8月23日(水)・9月13日(水) 10:00～11:30
 - 対象 妊婦さん、お子さんとおうちの方
 - 場所 町子育て支援センター ※お申込み不要
- ☎町健康子育て課 ☎42-6640

ママパパ教室

出産前のママとパパで参加いただける教室です。
 講話：妊娠中の食事について 体験：パパの妊婦体験

- 日時 9月27日(水) 受付 13:15～ 開始 13:30～15:30
 - 対象 妊婦さん及びパートナーの方
 - 場所 町生きがい交流館
 - 申込締切 9月20日(水)
- ☎町健康子育て課 ☎42-6640

こあらすくすく 子育てQ&A Vol.04

Q『おもちゃの取り合い』
 A 子どもが遊ぶようになってよく目にするのはおもちゃの取り合い。傍にいる大人は、焦ったり心配になったりしますね。でも、自分と他人とのテリトリーの区別がまだついていない小さい子どもからしてみれば、仕方ない出来事なのです。
 大人が一方向的に「ダメでしょ！ほら貸してあげなさい。」などと強制はせず、ケガなどをしない限りはおおらかに見守ってあげてほしいと思います。「今使っているから待ってね。」「次、貸してね。」などの声掛けをしつつ、別のおもちゃで気を紛らわせたり、その場をちょっと離れてみるのもいいですね。それでも欲しくてごねたりするかもしれませんが、それは「これは自分の物だ。それで遊びたい！」と自分の気持ちを主張できるようになった成長の証なのではないでしょうか。

☎町子育て支援センター ☎44-2822

子育て世帯生活支援特別給付金のご案内

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、生活を支援するため給付金を支給します。

- 支給対象者・申請方法
 ◇令和4年度中に実施した子育て世帯生活支援特別給付金（前回の給付金）の支給対象者
 →申請不要。前回と同じ口座に振り込みます。
- ◇令和5年3月31日時点で18歳未満の児童（障害児の場合、20歳未満）を養育する世帯で令和5年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった方。
 ※令和6年2月末までに生まれた新生児等も対象。
 →必要書類を町健康子育て課へご提出ください。書類は町ホームページ（以下のQRコード）または町健康子育て課でお受け取りください。
- 支給額 児童一人当たり5万円
- 申込期限 令和6年2月29日(木)
- 注意点 ひとり親世帯分の「子育て世帯生活支援特別給付金」を受け取った方、転入された方で転入前の住所地からすでに給付金を受け取った方は、重複して受給できません。

☎町健康子育て課 ☎42-6671

LEW TABACKIN TRIO 2023inYAMAGATA
ル・タバキントリオ 2023in山形
2023年9月19日(火)
 時間◆開演 19:00 (開場 18:30)
 会場◆川西町フレンドリープラザ
 料金◆4,500円 ※当日は500円増
 【出演者】
 ルー・タバキン (sax,fl)
 高橋 信之介 (ds)
 金森 もとい (b)
 主催：ルー・タバキン・トリオ 2023in 山形実行委員会
 協力：Y.A.J.C (ヤマガタ・アメィジグ・ジャズ・クラブ)
 共催：川西町フレンドリープラザ

※9月19日(火)は、川西町立図書館・遅筆堂文庫は休館日となります。

井上ひさし最後の作品
 渡部ギョウプロデュース
組曲虐殺
2023年9月24日(日)
 時間◆開演 14:00 (開場 13:00)
 会場◆川西町フレンドリープラザ
 料金◆一般 3,000円 (当日3,300円)
 プラス会員 2,800円 (当日3,000円)
 シニア(65才以上) 2,500円 (当日2,800円)
 学生 1,500円 (当日1,800円)

『小林多喜二くん、絶望するな』
 多喜二を監視する特高刑事・古橋鉄雄や山本正は、彼の人柄に共感しながらも特高としての職務を全うするため手を尽くします。命を脅かされる状況の中でも、決して揺るがない信念を持つ多喜二のもとで、彼を取り巻く人々も、明るく、力強く生きていたのですが・・・

2023年 **9月16日(土)**
 会場◆川西町フレンドリープラザ
 時間◆14:00～
 定員◆40名 ※要事前予約
 参加費◆1,000円 (おやつ付)

入場無料
 次の日は、一箱古本市だよ！
9月17日(日)
 開催◆10:00～15:00
 古本市の他に、おいしいものやかわいい紙もの雑貨も集まるよ！

雑誌の「ページ」には、その時代の空気が詰め込まれています。作家・井上ひさしが集めた雑誌を所蔵する「遅筆堂文庫」。ジャーナリスト・大宅壮が集めた雑誌を基にした「大宅壮文庫」。ふたつの図書館の担当者を迎えて、雑誌の魅力や雑誌のアーカイブの使命について語り合います。
 雑誌文化が岐路を迎えているいまこそ必聴のトークです。

ひんだろうやしげ 南陀楼綾繁
 ライター・編集者

かもしだ ひろし 鴨志田 浩
 大宅壮一文庫 事務局次長

いもうえ ひさし 井上 恒
 井上ひさし研究家 地域おこし協力隊

大人のための夜の図書館 vol.39
「写経を楽しむ」
2023年9月13日(水)
 時間◆19:00～(図書館閉館後)
 場所◆川西町立図書館
 定員◆20名 (事前予約をお願いします)
 持ち物◆筆ペンと新聞紙を枚数ご持参ください。
 コーディネーター：遠藤敦子(川西町立図書館司書)

何ぞ知らないけど、でてるの？興味はあるけれど、自分にもできるの？初心者でも、まったく問題ありません。「写経」で心穏やかな時間を過ごしてみませんか。

おすすめ本コーナー 『夏におすすめしたい本』

子どもの『新刊本』 『なつやすみ』
 麻生知子 / 作 福音館書店 / 発行

こうたくん一家の夏休みの一日をユニークな構図で描いた絵本。いとことプールで遊んだ後は、みんなでそうめんの昼食を囲み、昼寝から覚めたらおやつのお祭りへ。誰もが共感できる、懐かしい夏の日をお楽しみください。

おとなの『新刊本』 『踏切の幽霊』
 高野和明 / 著 文藝春秋 / 発行

下北沢三号踏切で撮られた不可解な写真と8ミリフィルムの映像。一年間に立て続けに起きる謎の電車の緊急停止。心霊現象を取材していた松田は、この踏切で殺人事件が起こっていたことをつきとめる。被害者の顔写真は、そこで撮られた不可解な写真の女性だった。直木賞候補作品となった幽霊譚。

暮らしの情報
掲示板

採用・募集

白川土地改良区職員募集

- 募集業務 土地改良法に基づく一般業務（土地改良施設の管理業務及び改良区運営に関する一般事務）
- 採用予定人数 若干名
- 採用予定月日 令和6年4月1日
- 受験資格 ①～③全て満たした方
- ①平成6年4月2日以降に生まれた方で、高等学校以上を卒業した方又は令和6年3月までに卒業見込みの方
- ②普通自動車免許を取得している方又は採用時まで取得見込みの方
- ③長井市、飯豊町、川西町に在住の方
- 一次試験
- ◇試験日 10月1日(日) 9時30分～
- ◇会場 山形県土地改良会館
- 二次試験 一次試験合格者に通知
- 受付期間 8月21日(月)～9月15日(金) 9時～17時(土日祝日除く)
- 郵送の場合は9月15日(金)必着

受験申込資料請求は左の問合せ先へご連絡ください。

問 白川土地改良区総務課
☎ (88) 93331

警察官募集のお知らせ

- 試験区分 警察官B（高卒程度）
- 受験資格 昭和63年4月2日～平成18年4月1日までに生まれた方で、大学卒業以外の方
- 申込期間 7月14日(金)～8月28日(月)
- 第1次試験日 9月17日(日)
- 受験案内(申込書)は、米沢警察署、交番、駐在所で配布しており、山形県のホームページ(左のQRコード)からもダウンロードできます。
- 問 米沢警察署
☎ (26) 0110

山形県市町村職員退職手当組合
上級行政職採用試験

- 職種 上級行政職
- 採用予定人数 1名
- 試験日 11月5日(日)
- 会場 山形県自治会館
- 受験資格 平成9年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方で、学校教育法による大学を卒業した方、又は令和6年3月までに卒業見込みである方
- 受付期間 9月1日(金)～10月16日(月)
- 受験案内・申込書等 山形県市町村

職員退職手当組合のホームページ(左のQRコード)をご覧ください。

問 山形県市町村職員退職手当組合
☎ 023 (631) 0650

お知らせ



自殺予防週間

9月10日(世界自殺予防デー)から16日までの一週間は、自殺予防週間です。この期間中に、全国共通の番号で「こころの健康相談統一ダイヤル」を行います。一人で悩みを抱えないで、まずはお電話をください。

- こころの健康相談統一ダイヤル
☎ 0570 (064) 556
- 9月10日(日)～16日(土) 9時～17時
- ※「心の健康相談ダイヤル 023 (631) 7060」からも相談可能です。

- 自死遺族相談 大切な人を自死で亡くされた方が安心して語れる場所として、精神科医師や看護師による「個別相談」(要予約)を行います。
- 自死遺族の集い 身近な人・大切な人を自死で亡くした方々が思いを語り、分かちあう場として「自死遺族の集い」(月1回)を開催します。

問 山形県精神保健福祉センター
☎ 023 (674) 0139

相談



不登校・ひきこもりの相談会

専門の相談員が、無料で引きこもりに関する相談に対応します。ご家族からの相談も受け付けます。お気軽にご相談ください。※予約優先です。

- 【NPO法人With優開催】
- 開催日時 8月21日(月) 10時～14時
- 場所 町役場 相談室2 (1階)
- 問 NPO法人With優
☎ (33) 9137
- 【特定非営利法人から・ころセンター開催】
- 開催日時 9月14日(木) 13時～16時
- 場所 町役場 相談室2 (1階)
- 問 特定非営利法人から・ころセンター
☎ (21) 6436

住まいの無料法律相談のお知らせ

山形県すまい・まちづくり公社では、「弁護士による住まいに関する無料法律相談」を開催します。相談者は、先着3名まで。相談時間は1人40分程度。事前のお申込みが必要となります。

- 開催日 9月21日(木)
- 時間 13時30分～
- 場所 置賜総合支庁 503会議室
- 料金 無料
- 問 山形県すまい・まちづくり公社
☎ 023 (647) 0781

9月9日は救急の日

今年9月3日(日)～9日(土)を「救急医療週間」と定め、9月9日(土)は「救急の日」となっています。これを機会に、救急業務や救急医療について正しい理解を深めましょう。

令和4年中の川西町内で発生した救急出動件数は662件、そのうち、約32%は入院を必要としない軽症者となっています。救急車の正しい利用にご協力ください。

問 川西消防署
☎ (42) 3700

催し



健康パークゴルフ教室

パークゴルフを一から学べる教室です。

- 開催日(各コース全5回の開催)
- 【火曜コース(定員10名)】
- 9月5日～10月3日の毎週火曜日
- 【水曜コース(定員10名)】
- 9月20日～10月18日の毎週水曜日
- 時間 13時30分～16時
- 場所 川西ダリアパークゴルフ場
- 受講料 1回500円
- (利用料・クラブ・ボール借用代込み)
- 申込方法 左の問合せ先までご連絡ください。
- 問 川西ダリアパークゴルフ場
☎ (33) 9390

川西町民バスケットボール大会

各種アトラクションも開催予定です。

- 日時 9月9日(土) 9時～16時
- 場所 川西町民体育館
- 料金 1チーム1000円
- (高校生以下のチームは無料)
- 申込方法 8月31日(木)までに左の問合せ先へご連絡ください。

問 川西町スポーツ協会
☎ (46) 2277

ワールドカフェ in 川西町
～ウクライナ編～

ウクライナ出身のブラッド・マレンコヴさんを講師に迎え、戦争が起こった経緯やウクライナの現状について、ウクライナの歴史や背景などを交えてお話しいただきます。(通訳付・日本語/英語)

- 日時 8月26日(土) 14時～16時
- 場所 町生きがい交流館
- 対象 中学生以上
- 料金 無料
- 定員 先着20名
- 申込方法 左の問合せ先までお電話又はメール(左のQRコード)でお申込みください。
- 問 川西町国際交流協会事務局
リチャード
☎ (54) 0202



住宅の解体・リフォーム等の改修をお考えの皆様へ

どのような手順で進めるのか、何を準備すればよいのか、費用は概算でどれくらいかかるのかなど、ご説明いたします。無料です。他社に工事を依頼される場合でもかまいません。約24坪以上の解体工事、百万円以上の改修の場合に必要な事前調査も行っています。

時田解体 藤巻吉士郎 携帯 080-5551-6074
(自宅電話・FAX 42-2575)

相続手続(不動産・預貯金)・遺言・生前贈与

でお悩みではありませんか?

司法書士 菅野 行雄・菅野 純子

菅野司法書士事務所

高島町庁舎前 ☎52-4133 E-mail: kanno@omn.ne.jp

広告募集中

- ▶町報かわにし概要
月1回、約5,000部発行
- ▶規格 1種: 4.5cm × 8.7cm
2種: 4.5cm × 17.5cm
- ▶価格 1種: 8,000円(税込)
2種: 15,000円(税込)
- ▶申込 発行日1か月前まで

【お問合せ】町総務課 広報担当 ☎42-6695



…7月受付分…

ようこそ赤ちゃん 2名

氏名	性別	保護者	大字
阪野みくる	女	尚人・幸子	洲島
金子透也	男	純也・絵里	上小松

ご結婚おめでとう

新郎	新婦	大字
新宮 大史	遠藤美菜子	上小松
後藤 恭輔	船山 真樹	上小松

ご冥福を祈ります

氏名	年齢(満)	大字
齋藤 浩二	86	下平柳
加藤 富雄	78	大塚
羽根田 健	83	上小松
五十嵐子ヨ	87	堀金
川口 富皓	81	玉庭
宇野井富雄	79	大塚
原田 春子	85	上小松
斉藤 とよ	98	大塚
中山 藤子	76	上奥田

【おめでとう そして ありがとう】は、7月に掲載の申し込みがあった方のみ掲載しています。氏名は申込書のとおり掲載していますので、戸籍や住民基本台帳の表記と異なる場合があります。

川西町の人口

13,801人 (-7)
 男 6,806人 (-4)
 女 6,995人 (-3)
 世帯数 4,980世帯 (-3)

※7月末日現在の住民基本台帳人口



置賜農業高校の生徒たちの活動も紹介！
 置賜農業高校 ☎42-2101

農業鑑定競技へチャレンジ！

7月11日(火)に第2回校内農業鑑定競技会が行われました。農業鑑定競技とは、農業で実際に使用する物や写真を見て、それが何であるかを答えたり、それがどのような使われ方をするか等を答えたりする競技です。問題によっては簡単に答えることのできるものもありますが、中には紛らわしいものや、農業に関する計算問題などもあり、簡単には得点させてもらえません。そのため、農業についてしっかりと知識や考え方、そして経験が重要になってくる競技です。各コースでの成績上位者は、特別な練習を重ねて全国大会に向けて日々の学習に取り組めます。

7月22日(土)にオープンスクールを開催しました。本校に興味や関心がある地域の中学生や保護者の方が多数来校され、授業の様子や部活動の様子を見学・体験していただきました。



農業鑑定競技の様子



— 今月の表紙 —

7月29日(土)に小松幼稚園で開催された夏まつりの様子です。おうちの人も同伴で開催するのは、4年ぶり。わたあめやポップコーン、

ボールすくいなどの出店が並び、子ども達は家族や友達と交流を楽しみながら祭りを満喫していました。最後はみんなで盆踊り。子ども達の素敵な笑顔を見ることができました。



編集後記

私が人の写真を撮るときに大切にしているのは「どんな表情をとるか」です。表情が良い写真にはメッセージ性があります。「笑顔」なら楽しさ、「真剣な表情」なら臨場感など、見ている人に伝わってくるものがあると思います。最近プロの写真家の人から話を聞く機会がありました。笑顔を引き出すことに必要なのは、写真に写っていたく方への気配りと学びました。表情を引き出し、見ている皆さんにより伝わる写真を撮れるようにこれからも頑張ります。《Y》

風祭

風祭とは、立春から数えて二十十日目にあたる、9月1日前後におこなわれる行事のことです。ちょうど中生(中稲)の開花期で農作業の節目になります。天気が荒れやすく、台風襲来の時期にあたることから、農家では昔から厄日として警戒し、風除けと五穀豊穡を祈る祭が全国各地でおこなわれてきました。昔から稲作が盛んな本町でも、各地区の年中行事の記録にみられます。例えば、東沢地区では「新穂をとり、7粒を田の神に供え、少しでも稲を傷めないよう、この日は田んぼに入らずに休む」「新穂12粒(うるう年には13粒)を床の間の器に入れて供える」とあります。吉島地区では「この頃までに堆肥塚が一丈(約3メートル)になると餅を搗いて祝い、新穂をむき12粒をご飯に混ぜて炊き、寺社から受けたお札を田んぼや常口に立

てる」とあります。玉庭地区では「小豆飯を供え五穀豊穡平穏を祈る」とあり、やがて迎える収穫の時期に備えるための重要な行事であったことがわかります。時代の変化もあり、今日ではほとんどみられない行事となりましたが、今も昔も、豊かな実りの背景には、様々な知恵と工夫で自然と向き合う、生産者の日々の努力があることを忘れてはなりません。



町教育文化課 ☎(44)2843

川西町 地域おこし協力隊

Facebook ページで私たち協力隊の日頃の活動をご紹介します！
 町まちづくり課 ☎42-6613



地域おこし協力隊2年目

長澤 聡 (米沢市出身・中郡地区在住)

4月3日(月)に令和5年度地域おこし協力隊の委嘱状交付式があり、私の地域おこし協力隊2年目の活動が始まりました。

2年目となり退任後の新規就農に向けても少しずつ考えなければなりません。まずは何よりも農地取得が必要ですので動き始めています。しかしながら、想像していたよりも手続きが難しく大変だと感じています。



また、農業のほかにクロスステッチアーティストの活動も並行してやっています。考えています。ワー

クシヨップを行ったりしていますが、評判が良く手応えを感じています。東京上野の森美術館での美術展への出品も決まって、さらに活動の場を増やしていきたいと思っています。

現在も出前のクロスステッチ教室や制作実演の依頼も受け付けておりますので、お気軽にお問合せいただくと嬉しいです。問合せは左のQRコードからメールでお願いします。



お問合せはこちらから



Dreams Come True

ぼくの夢 わたしの夢

長澤 ^{のどか} 和 さん

川西中学校3年（上小松）

動物関係の 仕事に就くこと

現在私の家では、たくさんのメダカを飼育・養殖しており、グループ「okitama_i'be」のイベントなどで販売しています。そのグループで活動している方のメダカを見たことがきっかけで、私はメダカにとっても興味を持ちました。特に、透き通った青いヒレがひらひらしているメダカを見て、「こんなに美しいメダカがいるのか」と感動しました。

今、私はメダカの飼育を行っています。メダカに負担がかからないように水温を保ったり水を替えたりして、メダカの生活環境を守ることを意識しています。水を替えないのも問題ですが、替えすぎるのもメダカには負担となり、その加減が難しいです。命を育てているので手は抜けません。

私は将来、動物関係の職に就きたいと考えています。メダカの飼育を通して、生き物の命の尊さを感じたからです。どの動物も幸せに生きていけるように、動物のことを考え、保護する人になりたいです。

発行／川西町 編集／総務課 情報統計グループ
〒999-0193 山形県東置賜郡川西町大字上小松977-1
電話 0238-42-2111 (代) FAX 0238-42-2724
メール kohoo@town.kawanishi.yamagata.jp
印刷／正栄印刷

川西町
ホームページ



川西町
フェイスブック



川西町
ユーチューブ



川西町
LINE



令和4年
8月
生まれ

町が行う「ぐんぐん赤ちゃん健康診査」に参加されたお子さんを誕生月の町報かわにしが掲載します。

はじめてのバースデー

しまぬきかいらくん
みやたまほちゃん
はしもとりおんくん
こせきそうたろうくん
やまぐちそうたくん
たかはしかいくん
えぶくろれいなちゃん
せいのあおいちゃん

ねこ駅長しょころの

しょころ〜む



駅員室で川西町のハザードマップを確認するしょころ駅長。「避難場所や避難経路を確認して常に災害に備えて下さい!」と町民の皆さんに呼びかけているようでした。